

### 1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

|         |                       |            |  |
|---------|-----------------------|------------|--|
| 事業所番号   | 1270500760            |            |  |
| 法人名     | 有限会社 錦秋会              |            |  |
| 事業所名    | グループホーム木かげ (そよかぜユニット) |            |  |
| 所在地     | 千葉県緑区土気町1500-1        |            |  |
| 自己評価作成日 | 平成28年1月25日            | 評価結果市町村受理日 |  |

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

|          |   |
|----------|---|
| 基本情報リンク先 | <a href="http://www.kaigokensaku.jp/12/index.php">http://www.kaigokensaku.jp/12/index.php</a> |
|----------|---|

【評価機関概要(評価機関記入)】

|       |                          |
|-------|--------------------------|
| 評価機関名 | 特定非営利活動法人VAICコミュニティケア研究所 |
| 所在地   | 千葉県千葉市稲毛区園生1107-7        |
| 訪問調査日 |                          |

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

入居者さんの意思(想い)を大切にしています。入居者さんはもちろんですが、ご家族さんにも「木かげで良かった」と感じて頂けるホームを目指しています。私達の理念は「笑う門には福来る」です。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

| 項目 | 取り組みの成果<br>↓該当するものに○印  | 項目 | 取り組みの成果<br>↓該当するものに○印   |
|----|--|----|---|
| 56 | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる<br>(参考項目:23,24,25)<br>○ 1. ほぼ全ての利用者の<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんど掴んでいない  | 63 | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている<br>(参考項目:9,10,19)<br>○ 1. ほぼ全ての家族と<br>2. 家族の2/3くらいと<br>3. 家族の1/3くらいと<br>4. ほとんどできていない |
| 57 | 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある<br>(参考項目:18,38)<br>○ 1. 毎日ある<br>2. 数日に1回程度ある<br>3. たまにある<br>4. ほとんどない                         | 64 | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている<br>(参考項目:2,20)<br>○ 1. ほぼ毎日のように<br>2. 数日に1回程度<br>3. たまに<br>4. ほとんどない                                 |
| 58 | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている<br>(参考項目:38)<br>○ 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない                 | 65 | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている<br>(参考項目:4)<br>○ 1. 大いに増えている<br>2. 少しずつ増えている<br>3. あまり増えていない<br>4. 全くいない      |
| 59 | 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている<br>(参考項目:36,37)<br>○ 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない   | 66 | 職員は、生き活きと働けている<br>(参考項目:11,12)<br>○ 1. ほぼ全ての職員が<br>2. 職員の2/3くらいが<br>3. 職員の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない                                       |
| 60 | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている<br>(参考項目:49)<br>○ 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない                | 67 | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う<br>○ 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない                                     |
| 61 | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている<br>(参考項目:30,31)<br>○ 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない       | 68 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う<br>○ 1. ほぼ全ての家族等が<br>2. 家族等の2/3くらいが<br>3. 家族等の1/3くらいが<br>4. ほとんどできていない                              |
| 62 | 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている<br>(参考項目:28)<br>○ 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない |    |   |

自己評価および外部評価結果

| 自己                 | 外部  | 項目   | 自己評価  | 外部評価 |                   |
|--------------------|-----|--|---|------|-------------------|
|                    |     |  | 実践状況  | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| <b>I. 理念に基づく運営</b> |     |  |   |      |                   |
| 1                  | (1) | ○理念の共有と実践<br>地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている                             | 「笑う門には福来る」の理念を掲げ、管理者の指導の下、スタッフが常に意識をし、実践につなげている   |      |                   |
| 2                  | (2) | ○事業所と地域とのつきあい<br>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している                             | 近隣2校の中学生の職場体験を継続的に受け入れている。主治医のお誘いにて夏祭りの参加や担当民生員さんのお誘いでイベントに参加させて頂き交流を行っている。                 |      |                   |
| 3                  |     | ○事業所の力を活かした地域貢献<br>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている                           | ボランティアの方の力を借り畑をしており、収穫作物をご近所の方におすそ分けしている。定期的に木かげ新聞を作り、ホームページ掲載や、近所のコンビニや農協直売所などに掲示させて頂いている。 |      |                   |
| 4                  | (3) | ○運営推進会議を活かした取り組み<br>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている        | 管理者が主に行っている。安心ケアセンターの職員の方や、ボランティアの方々。民生委員さんや入居者さんのご家族にて構成されている                              |      |                   |
| 5                  | (4) | ○市町村との連携<br>市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる                   | 管理者が主に行っている。解らないこと等を聞きやすい環境にあると思う。役所からも、問い合わせなどが有り管理者がお応えしている                               |      |                   |
| 6                  | (5) | ○身体拘束をしないケアの実践<br>代表者および全ての職員が「介指指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる | 管理者の指導の下、各職員が実践中である。年に1、2名の職員が研修等に参加し学び、他職員に伝えている   |      |                   |
| 7                  |     | ○虐待の防止の徹底<br>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている        | 定期的に勉強会を行っている。いつでも職員同士が話し合いながら実践している。話し合える環境を作っている。   |      |                   |

【評価機関】

特定非営利活動法人VAICコミュニティケア研究所

| 自己 | 外部  | 項目   | 自己評価  | 外部評価 |                   |
|----|-----|--|---|------|-------------------|
|    |     |  | 実践状況  | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 8  |     | ○権利擁護に関する制度の理解と活用<br>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している    | 現在は行っていないが、三人の入居者さんが、該当されているため、今後の勉強会にて、学ぶ機会を作る予定である。   |      |                   |
| 9  |     | ○契約に関する説明と納得<br>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている                         | 契約時にホームへのご要望や不安点などを伺っている。ホームの方針など十分説明をし納得して頂いてから契約をしている。改定などの説明については書面にし、ご家族にお渡ししている。         |      |                   |
| 10 | (6) | ○運営に関する利用者、家族等意見の反映<br>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている                     | 玄関先にご要望箱を設置している。ご家族の面会時や電話時などにご要望やアドバイスを伺っている。その後管理者から社長に啓上し反映させている。                          |      |                   |
| 11 | (7) | ○運営に関する職員意見の反映<br>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている                                      | 現場からの意見を職員と管理者で話し合い、練った状態で管理者から代表に伝え、改善して頂き色々なシーンに反映されている。                                    |      |                   |
| 12 |     | ○就業環境の整備<br>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている      | 日々管理者が現場の職員を見ており、職員一人一人に合わせた指導や評価している。努力や実績などを踏まえ代表に啓上し、給与・賞与に反映している。勤務形態や希望休などを聞き勤務表の作成をしている |      |                   |
| 13 |     | ○職員を育てる取り組み<br>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている         | 主に管理者が行っている。スタッフ一人一人に合わせて、指導している。   |      |                   |
| 14 |     | ○同業者との交流を通じた向上<br>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | 管理者は地域の研修会や介護職の集まり等に、積極的に参加している。時間の都合のつく職員も参加している。頂いた資料を基に勉強会をしている。                           |      |                   |

| 自己                           | 外部  | 項目   | 自己評価  |      | 外部評価              |  |
|------------------------------|-----|--|---|------|-------------------|--|
|                              |     |  | 実践状況  | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |  |
| <b>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b> |     |  |   |      |                   |  |
| 15                           |     | ○初期に築く本人との信頼関係<br>サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている | ご入居前にご家族から頂いた情報を基に入居前から情報を集め、入居後はご本人にお話を伺い、不安なことや喜ばれることなど日々の様子を観察し、職員間で共有、安心して頂ける様努めている。      |      |                   |  |
| 16                           |     | ○初期に築く家族等との信頼関係<br>サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている            | ご契約時・ご入居時だけでは無く、毎月の担当職員からのお手紙や、お電話の際ご家族様に不安なこと・気になることを含めたご要望などを伺っている。                         |      |                   |  |
| 17                           |     | ○初期対応の見極めと支援<br>サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている        | グループホームであるため他の公的な介護サービスとの併用は難しいが、必要に応じた支援ができるよう可能な限り対応している。                                   |      |                   |  |
| 18                           |     | ○本人と共に過ごし支えあう関係<br>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている                        | ご入居時にご本人・ご家族と相談し呼び名を決めさせていただき、親しみを込めた呼びかけをしている。残存機能を活かしたお手伝いなども、一緒にして頂ける様に声掛けをし、労い感謝しながら行っている |      |                   |  |
| 19                           |     | ○本人を共に支えあう家族との関係<br>職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている         | ご家族様に担当職員・管理者より毎月手紙を送り、入居者さんの現状・日々のご様子をお伝えし共有して頂いている。受診の同行やイベントごとのお手伝いなどに参加して頂いている            |      |                   |  |
| 20                           | (8) | ○馴染みの人や場との関係継続の支援<br>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている                     | 賀状や贈り物などを頂いた際は、送り主の方にお電話をして頂いたり、お返事を書ける方には書いていただいている。なじみの方の面会時には居室でゆっくり過して頂いている。              |      |                   |  |
| 21                           |     | ○利用者同士の関係の支援<br>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずにご利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている                | スタッフが間に入り入居者さん一人一人に合わせた対応をしている、孤立した状態にならないよう努めている。  |      |                   |  |

| 自己                                 | 外部   | 項目   | 自己評価   |      | 外部評価              |  |
|------------------------------------|------|--|--|------|-------------------|--|
|                                    |      |  | 実践状況   | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |  |
| 22                                 |      | ○関係を断ち切らない取組み<br>サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている                    | サービス終了(殆ど亡くなり契約終了)したご家族さんとの関わりとして、BBQ大会などのイベント時にはお声掛けし、お手伝いを含め参加して頂いている。良好な関係は保っている。     |      |                   |  |
| <b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b> |      |  |  |      |                   |  |
| 23                                 | (9)  | ○思いや意向の把握<br>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している   | ご本人にお話を伺い希望に添えるよう努めている。意思決定が困難な方は生活歴やご家族からの情報を基に察しながら検討させていただいている。                       |      |                   |  |
| 24                                 |      | ○これまでの暮らしの把握<br>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている                                       | ご契約の際ご家族様から生活歴等を伺ったり、ご本人からお話を聞かせて頂き、サービスに取り入れている。入居前の担当ケアマネさんからも情報を頂き、把握に努めている。          |      |                   |  |
| 25                                 |      | ○暮らしの現状の把握<br>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている   | 日々の様子や、心身状況を記録に残し職員間にて共有し、把握に努めている。  |      |                   |  |
| 26                                 | (10) | ○チームでつくる介護計画とモニタリング<br>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している | 半年に一度ケース会議を開き見直しを行い、ご本人・ご家族様・職員の意見を取り入れ、介護計画を作成している。状況が大きく変化したときにも情報お持ちより、介護計画の見直しをしている。 |      |                   |  |
| 27                                 |      | ○個別の記録と実践への反映<br>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている                        | 日々の様子や変化を記録に残し、職員間で共有し介護計画の見直しに活かしている。   |      |                   |  |
| 28                                 |      | ○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化<br>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる               | 入居者さん一人一人に対応できるよう、ご本人の意志・ご家族様の思いを考慮し、その思いに答えられる為に、柔軟な対応ができるように努めている。                     |      |                   |  |

| 自己 | 外部   | 項目  | 自己評価  | 外部評価 |                   |
|----|------|---|---|------|-------------------|
|    |      |   | 実践状況  | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 29 |      | ○地域資源との協働<br>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している                                      | 中々地域資源の活用が難しいが、地域の民生委員さんにご相談し、ボランティアさんを紹介して頂いたとき、御話し相手になって頂いたりしている。近所のイベントに参加をさせて頂いている。                     |      |                   |
| 30 | (11) | ○かかりつけ医の受診支援<br>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している                                  | ご契約の際、ご家族に主治医をどうするか(今までのかかりつけ医など)を選んで頂いている。定期受診以外にも日々のバイタル測定にて異常が見られた際にはご家族と相談の後、受診をしている。                   |      |                   |
| 31 |      | ○看護職との協働<br>介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している                          | 現時点では職員で看護職はいないが、通院先の看護師や訪問看護師には現状を正確に伝えられるように申し送りの徹底や受診ノートの活用をしている。色々相談に乗って頂いている。                          |      |                   |
| 32 |      | ○入退院時の医療機関との協働<br>利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。 | 入院の際は地域連携生活シートやアセスメントシートをお渡ししながら、ご本人の不安が軽減するように、病院側にはご要望をお伝えし、なるべく沿って頂けるようお願いをしている。ご家族のご要望に基づき早期退院をお願いしている。 |      |                   |
| 33 | (12) | ○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援<br>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる  | 残念ながらご本人とは話せていないが、ご家族様と十分に話させていただき、ご家族のご希望・ホーム側の思いを持ち、ご家族と共に医師にご相談をし、ご希望に添った形になるよう努めている。                    |      |                   |
| 34 |      | ○急変や事故発生時の備え<br>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている  | 定期的に勉強会を行い学ぶ機会を設け、実践している。応急処置のための必要物品等は購入している。  |      |                   |
| 35 | (13) | ○災害対策<br>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている  | 定期的に避難訓練を行っている。避難訓練の際、年に一度は消防士に参加して頂き指導して頂いている。当日の夜勤者以外はほとんどの職員が参加し学んでいる。夜勤者には資料を配布している。                    |      |                   |

| 自己                               | 外部   | 項目  | 自己評価   | 外部評価 |                   |
|----------------------------------|------|---|--|------|-------------------|
|                                  |      |   | 実践状況   | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| <b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b> |      |   |  |      |                   |
| 36                               | (14) | ○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保<br>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている                    | ご入居の際ご要望を伺い、呼び方を決めさせていただき、入居者さん一人一人にあわせた言葉使い・言葉かけを行っている。                                     |      |                   |
| 37                               |      | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援<br>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている                      | 言える方には聞ける環境を整え間かせて頂いている。中々意思決定が難しい方には予めいくつかの選択肢を用意し、ご本人を選んで頂ける環境を作れるようにしている。察する様努めている。       |      |                   |
| 38                               |      | ○日々のその人らしい暮らし<br>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | 出来るだけご本人の希望にそえるようににはしているが、入居者さんの状態や状況によっては、職員がペースを作らせて頂く事もある                                 |      |                   |
| 39                               |      | ○身だしなみやおしゃれの支援<br>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している                                   | 日々の身だしなみの中で、ご自分でできるところはして頂いている。ヘアカットは訪問美容をお願いしている。普段のマニキュアや外出時・イベント時にはお化粧をして頂いている。           |      |                   |
| 40                               | (15) | ○食事を楽しむことのできる支援<br>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている      | 簡単な調理(皮むき・刻み等)や盛り付けを職員と共にやって頂いている。畑の作物を利用し、季節の野菜を味わって頂いている。目で見ても楽しめるよう、色々な器を使い盛り付けに工夫している    |      |                   |
| 41                               |      | ○栄養摂取や水分確保の支援<br>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている           | 高齢者の方の栄養面を考慮した献立表にて調理(主に調理師さん)している。飲み込みの困難な方にはミキサー調理や、特別な食事を提供している。水分チェック表を活用し、過不足の無い様に努めている |      |                   |
| 42                               |      | ○口腔内の清潔保持<br>口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている                    | ご自分でできる方には、歯ブラシにてブラッシングをして頂いている。全介助の方には吸引歯ブラシを使用し口腔ケアをさせて頂いている。定期的に訪問歯科医による口腔ケアを受けている。       |      |                   |

| 自己 | 外部   | 項目   | 自己評価  | 外部評価 |                   |
|----|------|--|---|------|-------------------|
|    |      |  | 実践状況  | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 43 | (16) | ○排泄の自立支援<br>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている                             | 排泄チェック表を活用し、一人一人に合った排泄支援をさせて頂いている。食後などは通常よりも少々長めにトイレに座って頂いている。オムツ用品を使用しているが、皆さんトイレを使用して頂いている。               |      |                   |
| 44 |      | ○便秘の予防と対応<br>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる   | 排泄チェック表にて排便状況の把握を行い、ヤクルト等の乳製品・牛乳などを飲んで頂き排便を促している。ホットタオルにて腹部のマッサージをさせて頂いている。                                 |      |                   |
| 45 | (17) | ○入浴を楽しむことができる支援<br>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている                            | 職員の都合上ある程度の時間帯での入浴となっている。曜日については決まっていない。入浴を好まない方には何とか安心して頂ける声掛けや工夫(入浴剤の使用など)をしている                           |      |                   |
| 46 |      | ○安眠や休息の支援<br>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している  | 消灯時間(9時)を過ぎてもTVを見たい方には見て頂き、眠れない方にはホットミルク等を飲んで頂き、お話を聞かせて頂いている。就寝時間に合わせ居室のエアコン調整をしている                         |      |                   |
| 47 |      | ○服薬支援<br>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている   | アセスメントシートやお薬の説明書にて大まかには把握できている。内服の際、手も平にのせさせて頂いたり、直接口に入れさせて頂いたりしている。内服薬の注意点などお薬剤師さんなどに相談している                |      |                   |
| 48 |      | ○役割、楽しみごとの支援<br>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている                            | 塗り絵の好きな方には塗り絵をして頂いている。好きな歌を聴いたり、歌って頂ける環境を整えている。布巾づくり等して頂いている。包丁を使える方には皮むきや刻みなどして頂いている                       |      |                   |
| 49 | (18) | ○日常的な外出支援<br>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるよう支援している | 中庭の散歩や畑での野菜の収穫、近隣への買い物。その日にどこかに行きたいか伺い、実行できる範囲であれば実行している。地域の民生委員さんの御誘いでお楽しみ会に参加して頂いている。外食などにご家族にも同行して頂いている。 |      |                   |



| 自己 | 外部   | 項目   | 自己評価  | 外部評価 |                   |
|----|------|--|---|------|-------------------|
|    |      |  | 実践状況  | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 50 |      | ○お金の所持や使うことの支援<br>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している  | ご本人の希望(ご家族の了承にて)にてお金を持っていたりしている方もいるが、ほとんどの方は持っていない。必要時には管理者よりお金をお渡しし買い物をして頂いたり、立替請求の旨を伝え買い物をして頂いている。                              |      |                   |
| 51 |      | ○電話や手紙の支援<br>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている   | 手紙のやり取りは出来る方にはして頂いている。お話の出来る方には、ご家族からの電話を繋いだり、たまには電話でもしてみますか？と声掛けしてみることも有る。月に一度は担当スタッフよりご家族へヶ月間のご様子をお伝えている。                       |      |                   |
| 52 | (19) | ○居心地のよい共用空間づくり<br>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 毎日の掃除を職員と共にして頂いている。不快な音をなるべくたてないようにしている。ミキサー音などを出してしまうときには「今から大きい音が出ます」と伝えてからにしている。リビングに2か所室温時計を置き、室温度を調整している。お気に入りの場所で過ごして頂いている。 |      |                   |
| 53 |      | ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり<br>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている  | テレビ前ソファなどで気の合う方々で過ごして頂いたり、眠くなった方や体調不良な方などには居室で休んで頂いている。会話がスムーズにいくようにスタッフが間に入っている。   |      |                   |
| 54 | (20) | ○居心地よく過ごせる居室の配慮<br>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている  | ご入居の際になるべくご本人の使用していたものを持って来ていただいているが、あまり多くは持ち込めていない。  |      |                   |
| 55 |      | ○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり<br>建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している   | カレンダーなどを見やすい位置などにかけている。いろいろな個所に手すりなどがあり、残存機能を活かしつつ、不安が少なく歩行ができるように支援している。会話の中で、ご家族の名前を聞いてみたりしている。                                 |      |                   |